

テスラ(TSLA)

【セクター】 一般消費財・サービス

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

2003年にカリフォルニア州パロアルトで創業した米国の電気自動車メーカーです。高級セダンの「モデルS」、SUVの「モデルX」、17年に投入した普及価格（ベース価格は35,000ドル）のセダン「モデル3」を製造販売しています。世界25か国に300以上の店舗を展開、売上の約5割が米国です。バッテリーは、パナソニックの技術協力によります。16年に太陽光発電のソーラーシティ社を買収、同事業は売上の約1割を占めています。

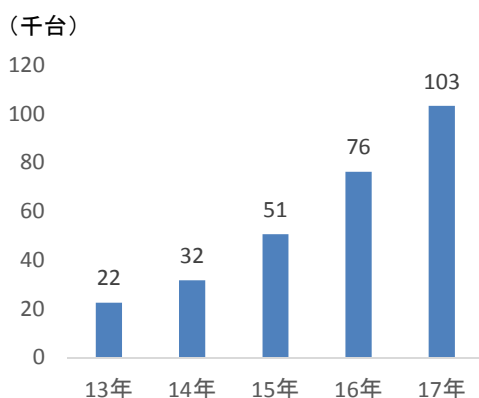
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年12月期	7,000	-725	-5.03	0.00	29.5	-22.9	26.1
17年12月期	11,759	-1,835	-11.07	0.00	25.1	-43.6	19.7
18年12月期予想	21,180	-602	-2.56	0.00	33.9	-12.3	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

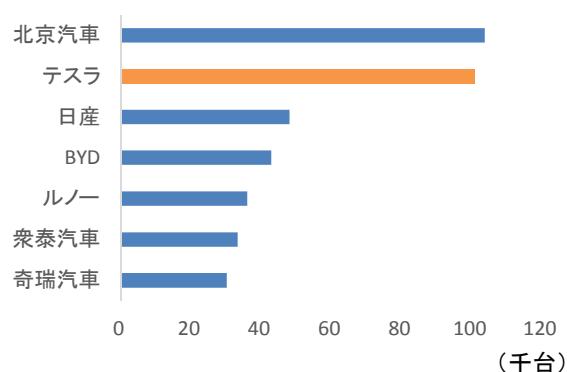
【主要指標】

図表1 テスラの自動車販売台数



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 電気自動車の販売台数上位企業（17年）



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

電気自動車の販売台数では世界最大級で、特に高級な電気自動車では、圧倒的な人気となっています。ただ、ブランド力もある世界の大手自動車メーカーが電気自動車への注力を表明しているため、同社の競争優位をいかに維持できるかは課題と考えられます。電気自動車市場で世界最大の中国では、現地での生産を計画しており、工場用地を取得したことが報道されています。

【見通し・注目点】

18年7-9月期は、自動車部門の調整後粗利率が大幅に改善して、市場予想を大きく上回る黒字化を達成しました。「モデル3」の生産台数は、同四半期末の最終週に約5,300台に到達したとしています。10-12月期の粗利率には中国の関税の影響が想定されるものの、「モデル3」については生産効率の向上と生産台数増による固定費の吸収で相殺して7-9月期と大きく変わらない水準が維持される見通しです。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/11/7)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。